

いわてHAMA-MESHIプロジェクト スタンプラリー スタンプ台紙

13市町村の飲食店・宿泊施設でスタンプをあつめて豪華プレゼント!
当選対象賞品はP88をご覧ください!

のりしろB(この面を二つ折りにして、のり付けてご応募ください)

A賞とコンプリート賞

13市町村で訪れた飲食店で押印してください。

[A賞]登録店舗のうち、異なる市町村で1店舗ずつ計2店舗以上周遊。

[コンプリート賞]登録店舗のうち、各市町村からそれぞれ1店舗ずつ周遊

久慈市
飲食店

野田村
飲食店

普代村
飲食店

田野畑村
飲食店

岩泉町
飲食店

宮古市
飲食店

山田町
飲食店

大槌町
飲食店

釜石市
飲食店

大船渡市
飲食店

陸前高田市
飲食店

住田町
飲食店

B賞

13市町村で
訪れた飲食店で
押印してください。

沿岸13市町村の登録店舗のうち、
2店舗以上周遊(同一市町村でも可)。

各市町村
飲食店
1

各市町村
飲食店
2

氏名	ふりがな	電話	年代	代	ご希望の賞品に チェックを入れて下さい。 ☐ A賞 ☐ B賞 ☐ コンプリート賞
住所			性別	男・女	

のりしろBに貼り合わせる

スタンプラリー
対象全128店舗!

洋野町
4店舗

久慈市
5店舗

野田村
4店舗

普代村
8店舗

田野畑村
5店舗

岩泉町
7店舗

宮古市
23店舗

山田町
11店舗

大槌町
6店舗

釜石市
23店舗

大船渡市
22店舗

陸前高田市
8店舗

住田町
2店舗

スタンプラリー
登録店舗の詳細は
P20～68をご覧ください。



三陸防災復興 プロジェクト 2019

公式ガイド ブック

三陸がつながる。
日本各地や
世界とつながる。
ひとつになって
更に前に進む。



contents

P4	実施概要
P6	国内外に向けた防災復興の発信
P10	三陸の豊かな自然環境
P11	三陸を元気にする文化芸術・スポーツ・食の力
P14	三陸鉄道や車での周遊
P16	スタンプラリー企画紹介
P18	いわて HAMA-MESHI プロジェクト
P20 ～	洋野町
P22 ～	久慈市
P25 ～	野田村
P27 ～	普代村
P30 ～	田野畑村
P33 ～	岩泉町
P36 ～	宮古市
P43 ～	山田町
P47 ～	大槌町
P50 ～	釜石市
P57 ～	大船渡市
P64 ～	陸前高田市
P67 ～	住田町
P70	三陸お土産品プロモーション大作戦
P78	イベントスケジュール・実施自治体一覧
P80	岩手県広域マップ・アクセス
P82	宿泊施設一覧
P85	協賛企業一覧
P86	岩手県内・市町村連携事業一覧
P88	いわて HAMA-MESHI プロジェクトスタンプラリー
P90	スタンプ押印・応募用紙





三陸防災復興プロジェクト 2019

〈会期〉2019年6月1日(土)～8月7日(水) 計68日間

の概要

三陸がつながる。
日本各地や世界とつながる。
ひとつになって 更に前に進む。

開催趣旨

2011年3月11日の東日本大震災津波による被災以降、三陸地域では、安全なまちづくりや暮らしの再建、なりわいの再生に向けて、三陸沿岸道路等の交通ネットワークや市街地の整備、災害公営住宅の建設、医療・福祉施設や教育施設の復旧、漁船や養殖施設の復旧、大型商業施設の開業などの取組が着実に進められています。

一方、未だ応急仮設住宅等で多くの方が不自由な生活を余儀なくされており、一日も早い恒久的な住宅への移行と、復興の長期化によるこころと体のケアや、災害公営住宅などでの新しい暮らしに伴う新たなコミュニティの形成に向け支援する必要があります。

被災地においては、復興の取組が進められている中、震災の風化や被災地への関心の低下が懸念されているほか、人口減少・少子高齢化が進展しており、交流人口の拡大にいかに取り組んでいくか等、復興の先を見据えた地域振興にも取り組んでいく必要があります。

このような中、東日本大震災津波から9年目となる2019年は、三陸鉄道によるリアス線の開通のほか、陸前高田市に整備が進められている東日本大震災津波伝承館の開館、ラグビーワールドカップ2019™の釜石開催など、三陸地域が日本国内のみならず世界的に注目を集める年となります。

この機会を捉えて、復興に力強く取り組んでいる地域の姿を発信し、東日本大震災津波の風化を防ぐとともに、国内外からの復興への支援に対する感謝を示し、さらには、東日本大震災津波の記憶と教訓を伝えることにより日本国内はもとより世界の防災力向上にも貢献していくこと、また、併せて、豊かで多彩な自然環境、地形・地質、風土に根ざした歴史の中で育まれた文化遺産や伝統芸能、多種多様な食材や郷土料理など、三陸地域の多様な魅力の国内外への発信と交流の活発化により、三陸地域への関心や認知度を高めながら、「新しい三陸の創造」につなげていくことを目的として、三陸地域全体を舞台とする総合的な防災復興行事「三陸防災復興プロジェクト2019」を開催します。

① 目指す姿

三陸防災復興プロジェクト2019は、復興のまちづくりに力強く取り組み、「新しい三陸の創造」に向かって歩みを進める地域の姿を発信し、復興の現状に対する関心を高め、東日本大震災津波の風化防止や国内外の防災力向上に資するとともに、当該事業を機に来訪した方に繰り返し訪れてもらえる三陸地域の形成を目指していきます。

② 基本コンセプト

三陸防災復興プロジェクト2019は、復旧や復興の取組を通して培われてきた、人々、地域と地域のつながりや絆を財産としながら、持続的に復興や地域課題の解決に取り組んでいくとともに、様々なつながりを更に発展させていくため、事業は次の基本コンセプトの下で展開していきます。

三陸がつながる。日本各地や世界とつながる。ひとつになって 更に前に進む。

③ 目指す姿を実現するための5つのテーマ

1. 防災の啓発と伝承

東日本大震災津波の記憶・記録を体系化し、教訓を国内外に伝えるとともに、後世へもつなぐこと。

2. 復興の現状の発信と支援への感謝

復興に力強く取り組んでいる地域の姿の発信と、復興への支援に対する感謝を伝えること。

3. つながり・関係の強化

復旧・復興を機に培われた人々、地域と地域の絆を更に深化させること。

4. 地域力の強化

三陸の地域資源の魅力を的確に伝え、その価値を高め、地域経済の活性化に資すること。

5. 新たな交通ネットワークの活用

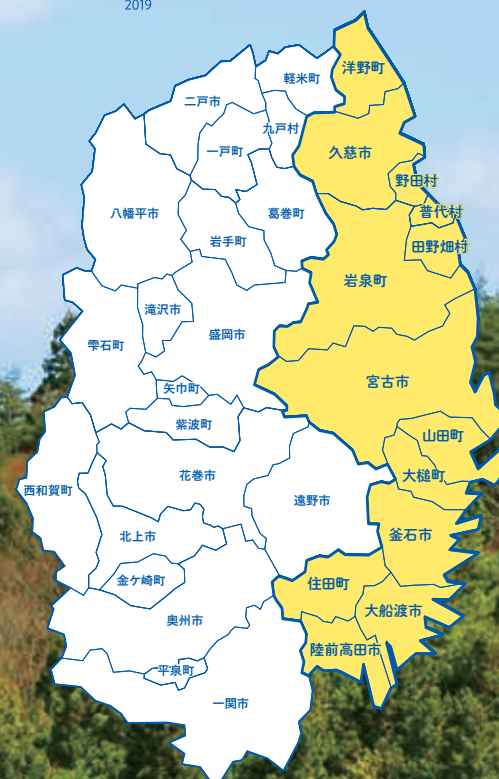
復興道路、復興支援道路、三陸鉄道、定期フェリー等新しい交通ネットワークの効果を十分に発揮するとともに、様々な事業を通じて交流人口の拡大を図ること。

ロゴマーク



三陸防災復興プロジェクト
2019

三陸の「三」を「羽」に見立て、新しい三陸の創造に向かって力強く羽ばたく三陸の姿を表現した。
色は、上から順に
・空色 清々しい未来を感じさせる明るい空
・青 美しく豊かな三陸の海
・赤 三陸の人々の活力と活気 を表している。



三陸防災復興プロジェクト 2019 の
最新情報はこちらから

三陸防災復興プロジェクト
<https://sanriku2019.jp>

検索

主催：三陸防災復興プロジェクト 2019 実行委員会

事務局：岩手県政策地域部三陸防災復興プロジェクト 2019 推進室

〒020-0023 岩手県盛岡市内丸 11 番 1 号 電話：019-629-6222 E-mail: ab0012@pref.iwate.jp

イベント紹介

2019年6月1日(土)から8月7日(水)までの会期中、「国内外に向けた防災復興の発信」「三陸の豊かな自然環境」「三陸を元気にする文化芸術・スポーツ・食の力」「三陸鉄道や車での周遊」につながる様々なイベントを開催し、復興の今と三陸の魅力を発信します。

国内外に向けた防災復興の発信

三陸防災復興プロジェクト2019 オープニングセレモニー

三陸防災復興プロジェクト2019の開幕にあたって、犠牲者への鎮魂とともに、復興に力強く取り組んでいる地域の姿と、復興への支援に対する感謝の思いを発信し、国内外の多様なつながりを深めるためのセレモニーです。

実施期日

2019年6月1日(土)

実施場所

釜石市民ホール(釜石市)



八神純子さんメッセージ

震災以前は、コンサートに行き帰るだけだった東北でしたが、歌を届けるため被災地を訪れるうちに、第2の故郷のような親しみを感じる東北になりました。6月1日の釜石では、私のバンドとのライブになります。当日は、私がそうであるように、たくさんの人が東北を大好きになり、足を運ぶよう、心から願いながら歌います。

実施内容

1. 東日本大震災が国際的な防災議論に与えた影響についてのスピーチ(国連国際防災戦略事務局)
2. 海外からの復興支援についてのスピーチ(外国政府)
3. 復興に取り組む若者のスピーチ
4. 復興支援で繋がり深い八神純子さんによるトーク&ライブ

三陸防災復興シンポジウム 2019

テーマ別シンポジウムを開催し、復興に取り組んでいる地域の姿を発信し、震災の風化を防ぐとともに、国内外からの復興支援に対する感謝を示します。また、東日本大震災津波の記憶と教訓を伝えることにより、日本国内はもとより、世界の防災力向上に貢献します。



第1回

これからの防災

東日本大震災津波の教訓と、今後の災害に対する回復力や強靭性を高めるために必要とされる平時の備えについて議論を行います。

- ① シンポジウム・パネルディスカッション
・今後の防災力向上に向けた講演
・これからの防災のあり方に関するパネルディスカッション
- ② 分科会(災害看護・災害時の公衆衛生、いわての復興教育)

実施期日

2019年6月1日(土)～2日(日)

実施場所

釜石市民ホール(釜石市)

第2回

なりわいの再生と 新たな三陸の創造

産業分野における災害リスク軽減に向け、東日本大震災津波の事実を踏まえた教訓を発信します。併せて、単に元に戻すことにとどまらない産業復興のあり方について議論を深めます。

- ① シンポジウム
・産業分野における災害リスク軽減に向けた講演
・災害からの事業復興や、今後の災害に備えた事務所の取組に関する事例報告
- ② 現地視察

実施期日

2019年6月28日(金)～29日(土)

実施場所

久慈市文化会館(久慈市)

第3回

地域コミュニティを基盤とした 防災力の向上

大災害における地域防災力の発揮に向けて、何が必要か議論を深めます。

- ① シンポジウム
・地域コミュニティを基盤とした防災力強化に向けて必要となる取組に係る講演
・地域コミュニティを基盤とした防災や、防災意識醸成に関する事例報告
- ② 現地視察

実施期日

2019年7月19日(金)～20日(土)

実施場所

大船渡市民体育館(大船渡市)

第4回

交通インフラの復旧・復興と 交通網を核とした交流の拡大

新たな交通ネットワークを活用した観光・産業振興等のまちづくりについて議論を深めます。

- ① シンポジウム
・新しい交通ネットワークを核とした地域活性化に関する講演
・交流人口拡大や産業振興に関する活動報告
- ② 現地視察

実施期日

2019年7月26日(金)～27日(土)

実施場所

宮古市市民交流センター(宮古市)

三陸防災復興展示会

災害への備えや防災に関する知識を学ぶ体験型展示会や復興に関するパネル展示を行います。



実施内容

体験型展示会

三陸防災復興シンポジウム2019と一体開催
・地震体験室を備えた県の防災指導車を活用した防災訓練や避難所運営、疑似体験の実施、関係機関の災害支援車両の展示、民間企業の防災グッズ(非常食など)の展示

パネル展示

プロジェクト会期中、沿岸13市町村に設置するLINK SANRIKU情報ステーションに常設
東日本大震災津波の被害状況や復旧の様子のパネル、復興支援でのつながりが実感できるパネル(復旧復興に関わった団体の活動の様子など)

LINK SANRIKU 情報ステーション

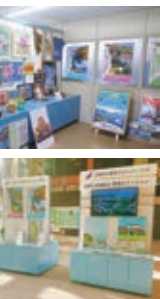
本プロジェクト会期中、三陸鉄道の駅舎、道の駅、観光・防災関係施設等に関係市町村の情報発信拠点を設置します。

情報発信拠点

洋野町	ひろの水産会館ウニーク
久慈市	やませ土風館 もぐらんぴあ
野田村	三陸鉄道 陸中野田駅
普代村	普代村観光センター(三陸鉄道普代駅)
田野畑村	三陸鉄道 カルボナード島越駅
岩泉町	岩泉町小本津波防災センター(三陸鉄道岩泉小本駅)
宮古市	宮古市市民交流センター(イーストピアみやこ) 三陸鉄道 陸中山田駅
山田町	やまだ観光物産館とっと
大槌町	大槌文化交流センター(おしゃっち) いのちをつなぐ未来館
釜石市	釜石市民ホール TETTO シーブラザ釜石
住田町	住田町役場 交流プラザ
大船渡市	大船渡市防災観光交流センター
陸前高田市	陸前高田市コミュニティホール アバッセたかた

実施内容

- ・三陸防災復興プロジェクト2019の事業情報
- ・各市町村の地域情報・観光情報
- ・復興の歩みのパネルなどの展示
- ・地域の創作団体等による作品展示



いわて三陸学びの旅

「復興の今を学ぶ」、「三陸の豊かな地域資源を学ぶ」をテーマとして、震災復興に関する語り部ツアーや三陸の様々な魅力を組み合わせた旅行商品を作成・販売します。

実施内容

復興の今を学ぶ

田老の学ぶ防災ガイドツアー、釜石鵜住居復興スタジアム・釜石津波伝承施設見学、大船渡ガイドの会によるツアー、浄土ヶ浜遊覧船乗船による復興ガイドツアー など

三陸の豊かな地域資源を学ぶ

リアス線乗車体験(貸切海女ちゃんふれあい列車)、ガイドと歩く龍泉洞ツアー、三陸グルメ体験 など



ホタテモザイクアート「ありがとう貝画」

かまいし絆会議(釜石市内の小中学生)と連携し、地元の子どもの発案による絵柄デザインをもとに、三陸産ホタテの貝殻を使用しモザイクアートを制作しました。プロジェクト会期中に釜石鵜住居復興スタジアム敷地内に貝画を設置し、支援への感謝を発信します。



三陸応援団 元気お届けキャラバン

主に集会所や地域交流施設等を訪問し、地域の住民の方々に元気、笑顔を届けるとともに、コミュニティ形成に資する活動を行います。



三陸防災復興プロジェクト 2019 クロージングセレモニー

閉幕にあたって、国内外からの支援への感謝を伝えるとともに、復興を続ける三陸の“今”を発信するセレモニーです。

実施期日

2019年8月7日(水)

実施場所

夢アリーナたかた(陸前高田市)

実施内容

1. 高校生による合唱
2. ストーリーテラー村上弘明さんによる本プロジェクトの開催報告(会期中の記録映像紹介を含む)
3. 三陸で復興に取り組む若者による「未来への希望」スピーチ
4. 「新しい三陸の創造」を目指す宣言
5. 復興支援でつながりのある坂本龍一さんと東北ユースオーケストラ(弦楽四重奏)によるコンサート

ストーリーテラー
村上弘明さん



岩手県陸前高田市出身の俳優村上弘明さんは、これまで数々の復興支援を行っているほか、2014年に「いわて☆はまらいん特使」に就任し、岩手の魅力発信にも尽力しています。

クロージングセレモニーでは、本プロジェクトの記録映像を交えた開催報告において、村上弘明さんがストーリーテラーとして出演します。

クロージング・コンサート
坂本龍一さん



Photo by zakkubalan (C)2017 Kab Inc.

東日本大震災津波被災後、more trees代表として岩手県住田町の木造仮設住宅建設への支援を行うなど、気仙地区とつながりの深い坂本龍一さんは、東北ユースオーケストラ代表・監督として、被災3県の小学生から大学生で構成される同オーケストラのコンサートを継続して行っています。

クロージングセレモニーでは、坂本龍一さんと東北ユースオーケストラ(弦楽四重奏)によるコンサートが行われます。

三陸の豊かな自然環境

三陸ジオパーク ワクワクフェスタ

三陸ジオパークに携わる関係者の交流、情報交換の場を設けることにより、三陸ジオパークに関する認識等を共有し、機運醸成を図ります。また、三陸ジオパークを題材とした親子や子供たちの学びの機会を提供するとともに、三陸ジオパークの魅力を発信します。

三陸ジオパークフォーラム

基調講演、岩石標本作りなどの「三陸ジオパーク体験学習」や、フォーラムに参加するジオパーク関係者との交流会やエクスカーションツアーを実施します。

実施期間 2019年6月7日(金)～6月8日(土)

実施場所 岩泉町民会館ほか



親子釣りフェスタ&ジオツアー

子供たちが、釣りやジオツアーを通じて、三陸ジオパークの自然や魚の生態を楽しみながら学べる親子釣りイベントを実施します。

実施期間 2019年8月3日(土)～8月4日(日)

実施場所 宮古市



岩手の海とジオの魅力展

(1) 三陸ジオパークに点在する博物館施設等による共同展示

三陸ジオパークに点在する博物館施設を「三陸のひとりの大きな博物館」に見立て、三陸ジオパークの地質・歴史・生息する生物等に関する展示を行い、三陸ジオパークの魅力を紹介します。

実施期間 2019年6月1日(土)～8月7日(水)

実施場所

もぐらんぴあ(久慈市)、崎山貝塚縄文の森ミュージアム・県立水産科学館(宮古市)、鯨と海の科学館(山田町)、釜石市郷土資料館(釜石市)、大船渡市立博物館・陸前高田市立博物館(大船渡市にて共同開催)



(2) 国立科学博物館と県立博物館の共同巡回展示

国立科学博物館と県立博物館が連携し、地質・歴史・生物にまつわる資料を巡回展示します。

実施期間・場所

2019年6月2日(日)～6月16日(日)
岩泉町小本津波防災センター

2019年6月22日(土)～7月15日(月・祝)
大船渡市立博物館



三陸ジオパーク フォトロゲイニングフェスティバル

岩手沿岸地域で初開催!三陸ジオパークに代表される三陸沿岸の景勝地や震災遺構、みちのく潮風トレイルなどを取り入れた、「いわて三陸」ならではのコースでフォトロゲイニング大会を開催します。フォトログが初めての方やファミリーチームはもちろん、岩手沿岸地域に来たことがないという皆さんも大歓迎です。三陸沿岸のあふれる魅力を、ぜひこの機会に味わってください!

沿岸南部エリア大会

実施期日 2019年6月15日(土)

実施場所 釜石市～大槌町

申込期間

2019年3月15日(金)～5月15日(水)
定員になり次第締切

申込方法

申込み方法はHPをご覧ください。
https://sanriku2019.jp/event/article12_details.html

【注意】本大会は事前申込制となっております。
当日の参加申込は受け付けいたしませんので、ご注意ください。



「フォトロゲイニング」とは?

フォトロゲイニング(Photo Rogaining)略して「フォトログ」は、「地図をもとに、時間内にチェックポイントの得点を集めるスポーツ」です。フォトロゲイニングで、スポーツしながら観光しよう!



大会概要

●競技時間/5時間 ●クラスカテゴリー/男子、女子、混合、ファミリー(小学生以下を含むチーム)
●チーム人数/2～5名 ●定員/200人または100チーム ●参加費/無料

大会に関するお問い合わせ先

三陸防災復興プロジェクト 2019 実行委員会事務局
フォトロゲイニングフェスティバル係(JTB盛岡支店内)
TEL 019-907-1874 FAX 019-623-4425
E-mail morioka_eigy@jtb.com
お問合わせ受付時間(月～金)9:30～17:30

三陸を元気にする文化芸術・スポーツ・食の力

三陸地域の郷土芸能が一堂に会するイベント オールいわて・祭りイベント

岩手には数多くの郷土芸能が存在し、地域の文化として脈々と受け継がれてきました。震災により多くの文化施設、文化芸術資源が被災し文化芸術活動の継承が危ぶまれた中、県内はもとより、全国からの多くの支援によって郷土芸能、祭り文化は再生しつつあり、震災を契機に多くの若者達がその地域文化を改めて見直し、継承に取り組んでいます。本事業では、支援への感謝と、復興へ向けた強い決意と力(パワー)を三陸の地から祭りの熱気を持って発信し、共有します。

イベント内容 その1

郷土芸能ステージ等

県内市町村の郷土芸能団体が参加し、演舞を披露します。

イベント内容 その2

グルメ祭り

三陸の食材・レシピ・食文化等を生かしたブースが出展し、三陸地域の食の魅力を発信します。

実施期日 2019年7月13日(土)～7月14日(日)

実施場所 宮古市



さんりく文化芸術祭 2019

復興支援の志を持ち、石巻・牡鹿半島で開催する「Reborn-Art Festival」との協働連携によりオペラを上演します。また、沿岸13市町村において、地域の創作活動団体等の文化芸術作品の展示発表の場を設け、三陸地域における新たな文化交流の機会を創出します。

実施内容

復興支援の志を持ち、石巻・牡鹿半島で開催する「Reborn-Art Festival」との連携企画

post rock opera「四次元の賢治」

原案:宮沢賢治 脚本:中沢新一 音楽:小林武史
出演:満島真之介、Salyu、コムアイ(水曜日のカンパネラ)、ヤマグチヒロコ、他
宮沢賢治の諸作をベースに、思想家・中沢新一さんが脚本を手掛け、小林武史さんがオペラに仕上げた舞台作品です。
後援:宮城県、石巻市

実施期日 2019年7月13日(土)

実施場所 釜石市民ホール ホールA

特設サイト

チケット販売情報など詳細はこちらをご覧ください。
<http://www.reborn-art-fes.jp/#opera>



2017年post rock opera「四次元の賢治」-第1幕-

地域の創作活動団体等による作品展示

地域の創作活動団体等の方々制作した作品を情報発信拠点会場に展示します。

実施期日 2019年6月1日(土)

～8月7日(水)

実施場所 沿岸13市町村



小林武史さん

さんりく音楽祭 2019

実施内容

これまでに県内で復興支援に取り組んでいただいた様々な音楽関係団体等とのつながりを生かし、世界的に有名な音楽家等の出演によるクラシックコンサートなど多彩な音楽イベントを実施します。



佐渡裕さん

佐渡裕さんとスーパーキッズ・オーケストラ によるコンサート及び音楽クリニック

東日本大震災津波発災後、継続して復興支援に取り組んでいただいている世界的音楽家の佐渡裕さんとスーパーキッズ・オーケストラ(SKO)によるコンサートや音楽クリニックを実施します。

実施期日 2019年7月31日(水)～8月4日(日)

実施場所 7月31日(水) 大船渡市
8月1日(木) 釜石市、大槌町、山田町
8月2日(金) 宮古市、田野畑村
8月3日(土) 久慈市
8月4日(日) 洋野町

その他復興支援のつながりを生かした音楽イベント

1.メディアと連携した音楽イベント

被災地支援に取り組んでいただいているメディアと連携し、音楽イベントを実施します。

実施期日 2019年6月22日(土)

実施場所 大船渡市

2.東京都交響楽団による演奏会

東京都交響楽団が、震災後継続して取り組んでいただいている野田村での、小学校や保育所等に通う子どもたちに向けた演奏会を開催します。



「美味(うんめ)えがすと三陸 ー Gastronomy SANRIKU ー 構想」 推進プロジェクト

岩手三陸の豊かな食材や自然、歴史、文化等を活用した「食」に関連するイベントを実施します。

1) 三陸国際ガストロノミー会議 2019

国内外の著名なシェフ等が一堂に会する国際会議を開催します。この会議では、ガストロノミー(美食術・食文化)の視点から三陸の魅力を国内外に発信します。

実施期日 2019年6月10日(月)～11日(火)

実施場所 会議 宮古市民文化会館大ホール
交流会 浄土ヶ浜パークホテル

特設サイト チケット販売情報など詳細はこちらを御覧ください。
<https://gastronomy-sanriku.com>



6月10日(月)	【会議 1 日目】 開会式 オープニングトーク 講演(招へいシェフ他) トークセッション 【交流会】
6月11日(火)	【会議 2 日目】 講演(招へいシェフ他) クロージングトーク 閉会式

さんりく絆スポーツフェスタ

実施内容

ラグビーワールドカップ2019™日本大会釜石開催や、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会と連携したスポーツイベント、復興支援活動等で三陸地域とつながりのある著名人と地元の子どもたちとの交流の機会を設定し、スポーツの力を通じた交流の拡大を促進します。



ラグビーワールドカップ2019™ 日本大会・釜石開催関連イベント

釜石鶴住居復興スタジアムで行われるラグビーワールドカップ2019™のテストイベントと連動して「スポーツの力による復興」をテーマとしたトップチーム、トップアスリート等の応援メッセージなどの展示を行い、国内外からの復興支援への感謝の思いを発信します。

実施期日 2019年7月27日(土)

実施場所 釜石市

Soft Bank 東北絆CUP 2019

ソフトバンク社が東日本大震災津波からの復興支援の一環として取り組んでいる「東北絆CUP」(競技:バスケットボール)を実施します。

実施期日 2019年7月14日(日)

実施場所 陸前高田市

東京2020オリンピック・ パラリンピック競技大会関連イベント

公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)と連携して東日本大震災津波発災後から復興支援を目的に開催されている「オリンピックデー・フェスタ」(被災地の方々とオリンピック、アスリートがスポーツプログラムを通じてふれあう交流イベント)を実施します。

実施期日 2019年6月15日(土)～8月4日(日)

実施場所 6月15日(土) 山田町、6月29日(土) 大槌町
7月6日(土) 洋野町、7月13日(土) 岩泉町
8月4日(日) 住田町

著名人とのスポーツ交流イベント

復興支援でつながりのある著名人とのスポーツ交流イベントを実施します。

実施期日 2019年7月28日(日)

実施場所 陸前高田市

2) 三陸美食サロン

国内外の料理人と地元岩手の料理人が協働してフュージョンディナーを実施します。創作したコラボメニューは、地元料理人が経営するレストラン・飲食店等で提供されます。

実施期日 2019年6月1日(土)～8月7日(水)
※各店舗1週間程度

実施場所 沿岸部の13市町村のレストラン・飲食店
(各市町村1店舗)



洋野町	グリーンヒルおおの	岩泉町	道の駅いわいづみ レストラン岩泉	住田町	すみたのだいどころ Kerasse (ケラッセ)
久慈市	ピストロくんのこ	宮古市	浄土ヶ浜パークホテル	大船渡市	Porco Rosso (ボルコ・ロッソ)
野田村	Osteria Vai-getsu (オステリア バイゲツ)	山田町	和海味処 いっぶく	陸前高田市	和食 味彩
普代村	国民宿舎くろさき荘	大槌町	割烹 岩戸		
田野畑村	ロレオール田野畑	釜石市	和の膳 みや川		

三陸鉄道や車での周遊

三陸プレミアムランチ列車

三陸プレミアムランチ列車



三陸鉄道の車窓から風光明媚な風景を眺めながら、三陸の旬の食材を使用したプレミアムな料理を味わっていただきます。東京恵比寿の人気店「日本料理 賛否両論」笠原将弘シェフが料理を監修し、一緒に列車に乗車します。

「日本料理 賛否両論」
笠原将弘シェフ

南三陸コース

運行日 2019年6月15日(土)
運行区間 盛駅発・宮古駅着
定員 40名

北三陸コース

運行日 2019年7月14日(日)
運行区間 久慈駅発・宮古駅着
定員 40名

三陸うほほ列車

北三陸の夏の食材、うに、はや、ほたてを使用した地元料理を提供する、美味しくて「うほほ!」、お得で「うほほ!」な夏の三陸を味わう企画列車を運行します。

運行日 2019年6月30日(日)
運行区間 久慈駅発・宮古駅着
定員 40名



※写真はイメージです

三陸鉄道一貫運行記念 「三陸縦断夜行列」

日本一長い第三セクター鉄道となった三陸鉄道リアス線163kmを夜通し走る夜行列車を運行します。



夜行列車の運行

運行区間 盛駅発(最終列車出発後)・久慈駅着(翌朝)
運行日 2019年7月20日(土)～2019年7月21日(日)
7月27日(土)～7月28日(日)
定員 60名(2両編成)
内容 盛駅での出発セレモニー／夜食の提供／大漁旗でのお出迎え／記念品のプレゼント

“復興の今”学習列車

内容 三陸鉄道の列車内で震災学習する他、被災から復興・復興の現場視察を行います。



新区間の震災学習列車

運行区間 宮古～鶴住居間
運行日 2019年6月8日(土)、7月6日(土)
定員 40名

既存の震災学習列車の拡充

運行区間 田野畑～久慈(北三陸)、釜石～盛(南三陸)
運行日 南三陸:2019年6月1日(土) 北三陸:7月25日(木)
定員 40名

三陸ステーション ガーデンプロジェクト

プロジェクトの期間中に、地域の方々との協働により、三陸鉄道の駅舎をガーデニングで装飾したり、沿線にシバザクラの苗を植栽するなどして、花と緑にあふれる“ステーションガーデン”を創作します。



花と緑にあふれる駅舎づくり

ガーデニングの専門家と地域の方々が協働で三陸鉄道駅舎を装飾し、三陸観光の玄関口にふさわしい花と緑にあふれる駅舎(ステーションガーデン)をつくりまします。

実施期間 2019年6月1日(土)～8月7日(水)
実施場所 三陸鉄道 久慈駅及び宮古駅

車窓風景モデルの創出

新たな車窓風景の創作に向け、地域の方々等による三陸鉄道沿線へのシバザクラの植栽イベントを行います。

実施期間 2019年6月9日(日)
実施場所 野田村十府ヶ浦公園

いわて三陸ドライブツーリズム

三陸沿岸道路等(復興道路や復興支援道路)が整備され、内陸地域から沿岸地域に地域間の移動時間が短縮されることから、ドライブしながら楽しく県内を周遊する企画を実施します。

実施期間 2019年6月1日(土)～8月7日(水)
実施場所 沿岸13市町村を中心とした岩手県全域

1. ドライブパスポート(有料)を入手して、事前に登録している県内の「道の駅」や飲食店等を訪問すると、わんこグルメがもらえます。(1箇所につき1個)
2. 「道の駅」や飲食店等を巡るスタンプラリーも行い、抽選で岩手県の特産品が当たります。
3. おすすめモデルコースをホームページで公開します。

【わんこグルメ】



※写真はイメージです



スタンプラリー企画紹介

#iiwate “ いい岩手 ” 教えて広めてキャンペーン

岩手県では、岩手の「いい」を多くの方に知ってもらうためのキャンペーンを実施しています。広い岩手を巡って、たくさんの魅力に触れて、素敵な賞品を当てよう!

詳細はこちらから



デジタルスタンプラリー

岩手沿岸部を中心に、対象スポットを巡るデジタルスタンプラリーを実施します。ミッション達成の方には、抽選で、岩手県内旅行券や県産食材、県産品をプレゼントします。

期間 2019年6月1日(土)～11月10日(日)

参加方法 専用ホームページから参加できます。
詳細はホームページをご覧ください。
(5月下旬詳細公表予定)



※参考(2018年の取組)

ポケモンコラボスタンプラリー

三陸防災復興プロジェクト2019「LINK SANRIKU情報ステーション」などの対象スポットを巡る「ポケモン×三陸防災復興プロジェクト2019」スタンプラリー(仮)を実施します。ミッション達成の方には、抽選で県産品をプレゼントします。

期間 2019年6月1日(土)～8月7日(水)

参加方法 「LINK SANRIKU情報ステーション」などで配布するスタンプ台紙を入手のうえ、対象スポットで5箇所押印すると応募できます。



©2019 Pokémon. ©1995-2019 Nintendo / Creatures Inc. / GAME FREAK Inc.
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャー・ゲームフリークの登録商標です。

Instagram フォトコンテスト

Instagramで、岩手県の風景や、食・祭りなどの写真を募集するフォトコンテストを実施します。

期間 2019年6月1日(土)～11月10日(日)(予定)

参加方法 ホームページをご覧ください
(5月下旬詳細公表予定)



※応募の条件や期間等、各企画によって異なります。条件等をご確認の上、ご参加いただきますようお願いいたします。

いわて三陸ドライブツーリズム

参加はこちらから



いわて三陸ドライブツーリズムに参加している道の駅や宿泊施設等を巡るスタンプラリーを実施します。ミッション達成の方には、抽選で三陸地域の県産品をプレゼントします。

[わんこグルメ]



ミニ海鮮丼



わんこカツカレー



カップまきもの



フラワーフラッペ

※写真はイメージです

実施期日 2019年6月1日(土)～8月7日(水)

参加方法 専用ホームページから参加できます。
参加店を巡り「わんこグルメ」を味わいながら、スタンプラリーで県産品をゲット!

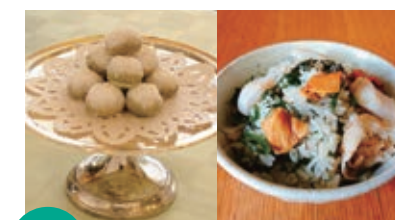


※写真はイメージです

A賞 20名様

三陸防災復興プロジェクト2019
推奨お土産品詰め合わせ 5,000円相当

条件 事業参画施設のうち、沿岸13市町村のうち、2市町村以上の事業参画施設を訪問。



※写真はイメージです

B賞 70名様

三陸鉄道お土産セット

条件 事業参画施設を2箇所以上訪問(ただし、1箇所は沿岸13市町村の事業参画施設であること)。

いわて HAMA-MESHI プロジェクト
スタンプラリー企画は 88 ページをチェック!



三陸防災復興プロジェクト 2019

いわて HAMA-MESHI プロジェクト

岩手三陸には、豊かな食材・食文化から生まれたHAMA-MESHIがあります。

「ここでしか食べられない!」HAMA-MESHIをぜひ味わってください。

期間 2019年6月1日(土)～8月7日(水)

場所 沿岸13市町村の飲食店・宿泊施設等の登録店舗
三陸防災復興シンポジウム2019久慈会場・大船渡会場



HAMA-MESHIとは?

- ・三陸の食材を使用したメニュー
- ・三陸の歴史や食文化に基づくメニュー
- ・三陸の郷土料理や浜料理など、地域に根付いているレシピを活用したメニュー
- ・地域ごとに取り組んでいる共通メニュー

その他、会期中の特別メニューなどの各種サービスを提供します。(提供内容は各店舗により異なります)

※掲載の飲食店等の情報は、2019.4.1現在のものです。



「三陸に来たら食べなきゃソン!」いわてで味わう海グルメ

いわてHAMA-MESHIプロジェクト 登録店舗において

沿岸13市町村の飲食店、宿泊施設等の登録店舗において、三陸ならではの美味しい食やおもてなしを提供します。登録店をめぐるスタンプラリーも実施します。

シンポジウム会場において

三陸防災復興シンポジウム2019の釜石会場においては、三陸の食を味わっていただくブース出展を行い、久慈会場・大船渡会場においては、来場者に浜料理のおふるまいを行います。



ホタテとワカメの炙りしゃぶしゃぶ御膳(陸前高田市内4店舗で提供)

洋野町



「北紫雲丹」の剥き身は、ウニが食べ残した昆布のカスや黒いワタを取り除き、殺菌した海水につけて出荷されます。

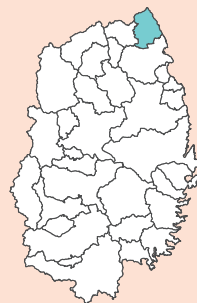
先人の知恵から生まれた北紫雲丹

岩場が多く、海藻が豊富な三陸では、ウニ漁が盛ん。その中核を為しているのが洋野町種市地区です。種市では、ウニの品質を上げ、安定した漁獲高をあげるため、昭和50年代、遠浅の岩礁に櫛状の増殖溝を掘り、「ウニ牧場」としました。増殖溝は、当時の組合長のアイデアによるもので、このおかげで、昆布の生育が潮の満ち引きによって左右されることなく繁茂するようになったとか。餌となる昆布が増えるということは、ウニの品質と生産性が高くなるということ。しかも、定期的に増殖溝を手入れすることで昆布のみを食べて育ち、身入りの良い「北紫雲丹」となります。4年かけて育った「北紫雲丹」は、濃いコクと甘みのある、三陸を代表する夏の食材となります。



左／潜水服を着用した漁師が海中に潜って「北紫雲丹」を採取します。収穫時期は5月から8月まで。

右／沖合200メートル近くまで続く遠浅の岩礁に建設された増殖溝。地形を生かした「ウニ牧場」は日本唯一のものです。



まちのプロフィール

岩手県の北東部に位置する洋野町は、日本唯一の「ウニ牧場」のほか、伝統的なヘルメット式潜水「南部もぐり」の技術が伝わる唯一のまち。アワビやホヤなどの海産物、大野地区の木工製品「大野木工」など、地元の資源を生かしたものが数多くあります。

- まちの花／つつじ
- まちの鳥／かもめ
- まちの木／あかまつ

岩手県九戸郡洋野町種市 23-27
TEL：0194-65-2111（代表）／FAX：0194-65-4334
<http://www.town.hirono.iwate.jp>

洋野 はまなす亭



オンラインワンの天然ほや、旨みの詰まったうにのある洋野町はまなす亭へお越し下さい。

【営業時間】11:00～15:00
【定休日】火曜日
【電話番号】0194-65-2981
【住所】洋野町種市22-131-3
【駐車場】有(20台)

HAMA-MESHI メニュー

うに飯、ホヤ飯

洋野 旬菜旬魚 かめふく



大将が選び抜いた新鮮な魚介類は、その日最高のものをお出しさせて頂きます。特に刺身定食は、自信を持ってご提供させて頂いております。

【営業時間】11:00～14:00
17:30～23:00
【定休日】月曜日
【電話番号】0194-65-5559
【住所】洋野町種市32-47
【駐車場】有(20台)

HAMA-MESHI メニュー

刺身定食(4点盛り)
生雲丹丼

洋野 海鮮酒房 わだつみ



「たねいち産直ふれあい広場」内で鮮魚販売を行っている株式会社三陸海鮮良味が経営しており、新鮮な魚介類を直接搬入し、調理し提供しております。特許庁から商標登録を受けた技術により、熟度の増した魚介類を是非ご賞味ください。

【営業時間】11:00～14:00
18:00～23:00
【定休日】木曜日
【電話番号】0194-66-7667
【住所】洋野町種市32-61
【駐車場】有(20台)

HAMA-MESHI メニュー

わだつみラーメン、海鮮丼、漬け丼

洋野 磯料理 喜利屋



地元の食材にこだわりながら、海産物ではウニ、天然ホヤ、あわび、海藻では、わかめ、ふのり、まつもなどのほかに、シイタケや雨よけほうれん草を使用しております。天然ホヤ尽くしのダイバー定食、ホタテ定食や、夏場には、生うに丼など、極上の1品を提供しております。

【営業時間】11:00～21:00
【定休日】木曜日
【電話番号】0194-65-2971
【住所】洋野町種市17-47-1
【駐車場】有(20台)

HAMA-MESHI メニュー

海賊ラーメン・生うに丼(洋野町産4月中旬～8月末まで)
ホタテ定食¥1,800、ダイバー定食¥1,600

久慈市



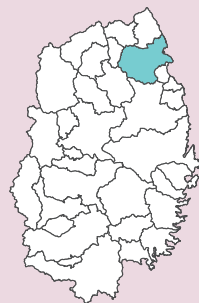
「あまちゃん」のロケ地として

平成25年(2013)に放映されたNHK連続テレビ小説「あまちゃん」は、東日本大震災で被災した人々に感動と希望を与えました。そのロケ地になったのが久慈市。ドラマでは久慈市は北三陸市、三陸鉄道久慈駅は北三陸鉄道北三陸駅、堀内駅(普代村)は袖が浜駅として描かれたほか、北限の海女、まめぶ、うに弁当などの名物も登場しました。久慈市では、いまでも「あまちゃん」の世界観が感じられます。商店街のシャッターに描かれた「あま絵」、海女の衣装を着て撮影できる「あまちゃんハウス」、夏は小袖海岸で行われる北限の海女による素潜りの実演など。もちろん、まめぶを提供している店も。久慈駅を降りた瞬間から数々のシーンが思い出されてくる感動を再び体感してみませんか。



左／久慈駅前にある「あまちゃんハウス」。北三陸市のジオラマや南部ダイバーのヘルメットなどを展示しています。

右／北三陸鉄道袖が浜のロケ地となった三陸鉄道堀内駅。



まちのプロフィール

三陸復興国立公園の北部に位置する久慈市。国内最北端の海で漁をする「北限の海女」のまち、琥珀のまちとして知られています。山側には、広大な白樺林が広がる平庭高原、久慈溪流がある久慈平庭県立自然公園を有する自然豊かなまちです。

- まちの花／つつじ
- まちの鳥／うぐいす
- まちの木／しらかば

岩手県久慈市川崎町 1-1
TEL : 0194-52-2111 (代表) / FAX : 0194-52-3653
<https://www.city.kuji.iwate.jp>

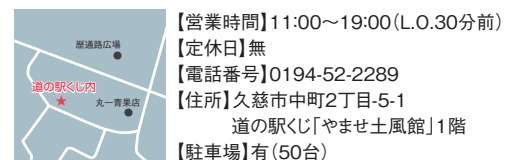
久慈

道の駅くじ

レストラン山海里



海鮮メニューを中心にご当地ならではの丼の提供で人気があります。海の幸を食べるなら道の駅くじレストラン山海里にお越しください。



HAMA-MESHI メニュー

なげまめセット ￥1,700 (税込)
(漁師なげこみ丼と久慈まめぶ汁のセット)

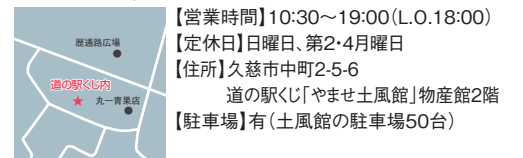
久慈

Café de la place

(カフェ ドラ プラス)



フランスラジオの流れる落ち着いた雰囲気のカフェ。ランチは地元食材を使ったランチセットをご用意(ランチタイム11:30~14:00L.O.)。うにのトマトクリームパスタは、季節限定大人気メニュー。また、月替りおすすめ珈琲を龍泉洞の天然水で煎れ、小久慈焼のカップでお愉しみていただけます。



HAMA-MESHI メニュー

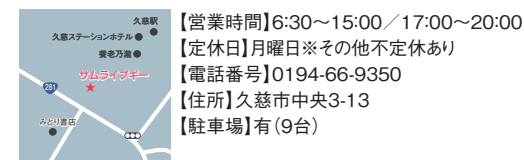
北三陸うにのトマトクリームパスタ
￥1,380 (単品：税込)

久慈

津軽煮干中華蕎麦 サムライブギー



やきとり製造メーカーである櫛吉成食品が新規事業への進出と久慈市中心街地活性化のため平成29年11月にラーメン店を開業致しました。地元食材と製法にこだわった一杯入魂の各種ラーメンが人気です。



HAMA-MESHI メニュー

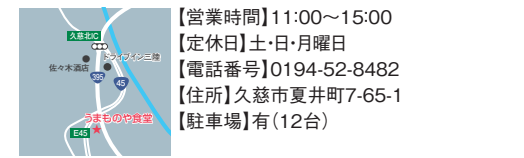
鶏そば

久慈

うまものや食堂



朝採れの魚を提供しています。また、放し飼いで飼育している鶏の朝採り卵で作る出汁巻き玉子は絶品です。



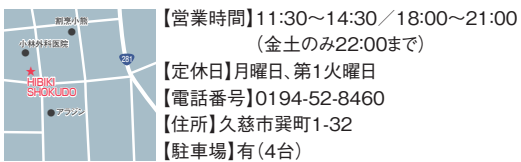
HAMA-MESHI メニュー

前浜定食(地魚) 短角牛メンチカツ
福来豚串カツ

久慈 HIBIKI SHOKUDO



地元で育てられた安心で新鮮な食材を、手間ひま惜しまず都度仕込み仕上げたランチとディナーを提供しています。



HAMA-MESHI メニュー

菜彩鶏のチキングリル、久慈産野菜の自家製ピクルス、野田塩ポテト、久慈産しめ鯖のサラダ（夏季限定）、野田村山ぶどうのオリジナルドリンク、大野ゆめ牛乳の杏仁豆腐 など

コラム

HAMA-MESHIを、地形から読み解く①
「ジオ」が育む、おいしい三陸（北三陸編）

地殻変動による隆起や、海水面の変化による沈水（陸地が水に沈むこと）など、地球の営み「ジオ」がつくりあげた三陸の地形。実は、この地域の農畜水産業とも深い関わり

があります。北三陸の海は岩礁が多く、その複雑な地形が良質な海藻を育てると言われています。普代村は、肉厚で柔らかい昆布を細くすいた「すき昆布」が特産品。宮古市田老の「真崎わかめ」も、ブランドとして全国区の人気を誇ります。また、久慈市の小袖海岸では、海藻をたっぷり食べて育つウニやアワビを、素潜りで採る「北限の海女」が今も活躍。夏には実演も行われます。洋野町は、海岸の遠浅で平らな岩盤に溝を掘り、昆布を群生させウニを育てる「ウニ牧場」があります。野田村では、波の荒い外海（沖）で養殖する「荒海ホタテ」が名物。海水を薪窯で煮詰める「のだ塩」も特産品です。また、宮古から八戸まで続くなだらかな海岸段丘を活かした酪農も盛ん。洋野町「おおのミルク工房」、田野畑村「たのはた牛乳」「山地酪農牛乳」、宮古市「しあわせ乳業」、岩泉町「岩泉乳業」「なかほら牧場」など、おいしい乳製品を味わうことができます。

TOWN INFORMATION

野田村



「のだ塩」を使った「のだ塩ラーメン」は、人気のおみやげ。道の駅の店などで販売しておいしく自宅でも野田の味を楽しめます。

のだ塩は、牛の背に揺られて内陸へ

十府ヶ浦海岸があり、砂鉄の産地で塩を煮る鉄鍋が入手しやすかった野田では、昔から塩づくりが盛ん。江戸時代には、牛の背に塩を乗せて内陸の盛岡へ運び、穀物と交換されました。野田は有数の塩の生産地でしたが、昭和24年（1949）に専売制度により姿を消しました。しかし、近年、村民の努力により伝統の直煮製法による塩づくりが復活しました。野田の塩は自然濾過された海水を鉄鍋で煮詰めていき、蒸発したら海水を足してまた煮詰めるを繰り返す「薪窯直煮製法」でつくられます。大量の海水から取れる塩はごくわずか。しかし、粒は一般的な精製塩より大きく、まろやかな味。この「のだ塩」を始め、「のだ塩ラーメン」や「のだ塩ソフトクリーム」なども販売されています。



左／道の駅のだにある「野田の牛方像」。野田から内陸の城下町・盛岡へ通じる道は「塩の道」と呼ばれました。

右／「のだ塩」をつくらっている工房の見学は予約制。予約問い合わせは、国民宿舎えぼし荘（TEL 0194-78-2225）まで。



まちのプロフィール

都の貴族たちから「十府の浦」「十府の菅薦（すがごも）」と歌枕として詠まれた十府ヶ浦のほか、大唐の倉、えぼし岩などの景勝地があります。野田の荒海で育った肉厚な「荒海ホタテ」やワカメなど、おいしい海の幸も好評です。

●まちな花／はまなす
●まちな鳥／せきれい
●まちな木／くろまつ

岩手県九戸郡野田村大字野田 20-14
TEL：0194-78-2111（代表）／FAX：0194-78-3995
<http://www.vill.noda.iwate.jp>

野田 Osteria Vai-getsu

(オステリア バイゲツ)



イタリア修行から戻り、改めて感じた故郷の魅力。それは「食材の宝庫」だということ。地産地消を実行できる場所と、とにかく毎日が喜びの日々。地域とともに、三陸の魅力をもっと伝えていきたい、そんなシェフの思いが響いてくるお店です。



【営業時間】要予約
【定休日】木曜日
【電話番号】0194-71-1005
【住所】野田村野田31-7-1
【駐車場】有(8台)

HAMA-MESHI メニュー

ランチメニュー・ディナーメニュー

荒海ホタテ、荒海わかめ、荒海カキ、荒海ホヤ、荒海しゅうり、福来豚、ワイン※山ぶどうと野菜等は店で作っています。

野田 洋食旬彩料理 みなみ



野田村の食材を中心にいろいろアレンジした料理を提供しています。シェフ一番の自信作がアヒージョ。夜メニューですが昼も予約すれば食べられます。



【営業時間】11:30~14:00 / 18:00~
【定休日】日曜日
【電話番号】0194-78-2255
【住所】野田村野田26-15-2
【駐車場】有(1台)

HAMA-MESHI メニュー

荒海ホタテのアヒージョ、南部福来豚を使った料理 等

野田 国民宿舎 えぼし荘



海が見えるレストランで食事ができます。野田村特産の荒海ホタテづくしのランチをぜひ一度おためしください。



【営業時間】11:30~14:00 / 18:00~20:00
【定休日】無
【電話番号】0194-78-2225
【住所】野田村大字玉川2-62-28
【駐車場】有(50台)

HAMA-MESHI メニュー

荒海定食

野田 道の駅のだ レストランぱあぷる



道の駅のだの中にあるレストランで、地元の漁家・農家の女性たちのグループが運営しているお店です。やさしい手料理と笑顔を皆様提供します。



【営業時間】11:00~15:00
【定休日】水曜日
【電話番号】0194-78-4191
【住所】野田村野田31-31-1
【駐車場】有(普通車50台、大型車5台)

HAMA-MESHI メニュー

野田塩ラーメン

TOWN INFORMATION

普代村



普代村の主産業は水産業。その中でもコンブは水揚げも品質も県内トップクラスです。肉厚でも柔らかなコンブを湯通しし、細く切ってすき枠に入れてシート状にし、乾燥させたものが「すき昆布」です。すき昆布は、水で戻して、炒め物や煮物に使ったり、サラダの具材にしたり、さまざまな料理に使える食材。しかも、ヨードやカルシウム、ビタミン、ミネラルが豊富です。普代村では、商店と連携してコンブの商品開発を行い、コンブのブランド化もはかっています。「こんぶ饅頭」や「昆布ラーメン」、菓子では「昆布バー」や「かりんとう」など、加工品がいっぱい。また、三陸鉄道普代駅に隣接する「ふだいのアンテナショップあいでは」「こんぶソフト」も販売しています。

湯通しをしたコンブを刻んで、すき枠に入れてシート状にします。湯上げたコンブは、きれいな緑色をしています。

肉厚で柔らかいコンブで村おこし



左／「すき昆布」は、乾物なので、保存にも適しています。シャキシャキとした食感が特徴で、磯の香りがします。

中央／コンブの粉末、オートミール、コーンフレークなどを原料とした「昆布バー」。

右／コンブを麺に練り込んだ「こんぶ饅頭」。冷やしうどん、温うどんのどちらでもおいしく味わえます。

まちのプロフィール



北緯40度に位置する黒崎は、普代村きっての景勝地。黒崎展望台、白垂の黒崎灯台、カリヨンの鐘があり、散策にも最適。また、村には国重要無形民俗文化財「鵜鳥神楽」が伝承されており、「鵜鳥神社」に源義経が蝦夷地を目指した北行伝説が残っています。

●まちな花／はまゆり
●まちな鳥／うみう
●まちな木／えんじゅ

岩手県下閉伊郡普代村第9地割字銅屋 13-2
TEL : 0194-35-2111 / FAX : 0194-35-3017
http://www.vill.fudai.iwate.jp

普代 御食事処 魚定



地元産の海産物で鮮度抜群です。他にも、磯ラーメン、めかぶラーメン、うに丼、魚定定食(前浜で獲れた魚の焼き物がメイン)など、豊富なメニューでお待ちしております!!



【営業時間】11:00～17:00
【定休日】不定休
【電話番号】0194-35-3011
【住所】普代村6-29-2
【駐車場】有(15台)

HAMA-MESHI メニュー

うに三陸海鮮丼

普代 普代参拾伍番館



カフェ兼コミュニティスペースです。地元産のほうれん草などを使用したスムージーなどを提供していますので、街歩きで一息つきたいときにご利用してください。



【営業時間】12:00～15:00
【定休日】日・月・火曜日
【電話番号】080-6011-3535
【住所】普代村13-87-2ふれあい交流センター
【駐車場】有(10台)

HAMA-MESHI メニュー

スムージー hayato、ほうれんそうのスムージー

普代 いち龍



地元産の海産物をふんだんに使用した浜ラーメンです。浜に来たら浜ラーメン!まちの定食屋らしく豊富なメニューでお待ちしておりますので、子どもからお年寄りまで皆さんお越しください。



【営業時間】11:00～15:00 / 17:00～20:00
【定休日】不定休
【電話番号】0194-35-2653
【住所】普代村14-111-15
【駐車場】有(20台)

HAMA-MESHI メニュー

浜ラーメン

普代 国民宿舎くろさき荘



展望大浴場から望む青い海、大きな空。陸中海岸国立公園にすっぽりと包まれながら、旅をする人に"くつろぎ"という言葉が似合う場所です。



【営業時間】予約制(12:00～14:00)
【定休日】不定休
【電話番号】0194-35-2611
【住所】普代村2-84-4
【駐車場】有

HAMA-MESHI メニュー

湯ったり定食、普代村特産品のすき昆布煮物、季節のお刺身

普代 浜の産直きらうみ



普代浜園地キラウミは最高の白い砂浜とキラキラの海が最高のロケーション。新鮮な海産物が自慢の産直です。



【営業時間】10:00～17:00
【定休日】不定休
【電話番号】0194-35-2918
【住所】普代村7-28-19普代浜園地キラウミ内
【駐車場】有(20台)

HAMA-MESHI メニュー

きらうみ定食

普代 味処ながさわ



漁師直送の新鮮な魚と旬の食材が自慢。ボリューム満点のからあげも人気です。



【営業時間】18:00～23:00
【定休日】日曜日、祝日
【電話番号】0194-35-2313
【住所】普代村13-112-1
【駐車場】有

HAMA-MESHI メニュー

刺身定食

普代 レストハウスうしお



断崖上から海と三陸鉄道の見える絶景スポットで、三陸産うにを堪能してください。



【営業時間】11:00～15:00
【定休日】不定休
【電話番号】090-2023-6947
【住所】普代村19-104-13
【駐車場】有(30台)

HAMA-MESHI メニュー

生ウニ丼、磯ラーメン生ウニ丼セット

普代 上神田精肉店



漁業が盛んな普代村で唯一の精肉店として、昭和45年創業のお肉とお惣菜の専門店。村外からもお客様が多数訪れる人気のお惣菜や、手作りのたれを毎日休まず作っています。



【営業時間】8:00～20:00
【定休日】年中無休
【電話番号】0194-35-2210
【住所】普代村13-112-6
【駐車場】有(10台)

HAMA-MESHI メニュー

ふだいの昆布入り和牛メンチカツ